ゴルフルール Q&A

楽しいゴルフも「知らなかった」「うっかり」で思わぬペナルティを受けるケースが時折見受けられます。マナーと共にルールもしっかりマスターして楽しくプレーしたいものですネ。

球の打ち方（I）

押し出し、掻き寄せ、すくい上げ

Q ホールの近くに止まった球を掻き寄せてホールアウトしました。この場合、罰を受けますか?

A 2打の罰を受けますが、ホールアウトは認められます。規則では「球をクラブヘッドで正しく打たなければならず、押し出したり、掻き寄せたり、すくい上げてはならない」と規定しています。球はクラブヘッドのどの部分で打っても構いませんが、クラブヘッド以外の場所、例えば、グリップエンドで打つということは認められません。

ダウンスイングを途中で止める

Q 球を打とうとしてダウンスイングをしたのですが、途中で球を打つことをやめようとしてダウンスイングを止めましたが、止まらずに球の上を通過させました。これはストロークしたことになるのでしょうか?

A プレーヤーに球を打つ意思がなかったのでストロークをしたことにはなりません。ただし、このような場合にプレーヤーにストロークを行う意思があったのかどうかについて疑問が生じるようなときはプレーヤーに不利に解釈されるべきです。

片手で傘をさし、片手でパットした

Q 片手で傘をさしながら、あるいは旗竿を持ちながら、もう一方の片手だけでパットすることは許されますか?

A 正しくストロークされていれば片手に傘や旗竿を持ちながらパットすることは許されます。

キャディーがプレーの線の後方延長線上に立つ

Q ストロークするときに、キャディーをプレーの線の後方に立たせ、正しくアドレスをしているかどうかを確認させているプレーヤーがいますが、規則違反とはならないのですか?

A ストローク前にキャディーをプレーの線の後方に立たせることは違反とはなりませんが、ストローク中にキャディーをそのような場所に立たせておくことは違反となり2打の罰を受けます。ただし、プレーヤーの援助をする目的ではなく、たまたまそのような場所にキャディーが立っていて、プレーヤーもキャディーも気づいていなかったような場合には違反とはなりません。

〈参考:社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会「ゴルフルール早わかり集」より〉

志村コーチのゴルフ ワンポイントレッスン 第11回

アプローチって何ヤードからをさしますか? 意識の違いが、レベルの違いを生んでいる!

皆さんは、アプローチショットと言うと何ヤードからのショットをさしておられるでしょうか?

たぶん、多くの方は50ヤードぐらいからグリーン周りを意味しているのではないでしょうか。

私がアメリカ、カリフォルニアのミニツアーに参戦している時の事です。155ヤードからピンを狙ってショットしたボールは、狙いどおりのピンまで1ヤード！快心のショットでした。その時です。同伴していたアメリカ人のプレーヤーが「グット・アプローチ!!」と声をかけてくれたのです。私は日本の感覚で「アプローチとは変なこと言う人だな〜」くらいに思っていました。

ある日、コーチがアプローチの練習をするとのことだったので、SW、AWとPWを3本持ってコースに向かいました。するとコーチが「160ヤード打つクラブは持ってきたかい?」と言いました。私は「アプローチとは何ヤードですか?」と尋ねました。するとコーチが言いました。「160ヤード以内はすべてそうさ!」と。つまり160ヤード以内はすべてピンに絡めるべきショットであると言う意味です。もちろん状況判断は必要ですが、基本的にはそうなのです。ちなみに、15ヤード以内はチップインを狙います。私は改めてアメリカのゴルフに対する考え方のすごさを痛感しました。そして、日本のゴルフとの違いがここにも存在しているように感じました。

私の尊敬する名コーチにハーヴィー・ペニックと言う方がいます。彼はベン・クレンショーやトム・カイトなどアメリカを代表する名プレーヤーを育て上げました。彼が教え子の一人、ベッツィ・ロールズに宛てた電報にこんな言葉があります。「テイク・デット・エイム！（死ぬ気で目標を定めなさい）」この言葉の意味の深さを理解できた方は間違いなく、ベストスコアを出すことが出来るでしょう。

志村 博康プロ（しむら ひろやす）
スイングファクトリー代表。高校卒業後アメリカ・サンディエゴに渡米し、USPGAプロのパトリック・E・ショウ氏に師事し、最新のゴルフ理論を学ぶ。カリフォルニアミニツアーにも参戦。
現在、よしみねゴルフクラブ（京都市西京区）にて完全個人指導にこだわったマンツーマンレッスンを実施。